

## 「鳥居・井上基金」助成実施報告（2024 年度第 2 回, A-研究集会支援）

提出日：2025 年 11 月 25 日

氏名・所属：浦井暖史（信州大学理学部）

集 会 名：Biogeochemistry Camp 2025

会 場：信州大学 理学部（松本キャンパス / 乗鞍ステーション）

期 間：2025 年 8 月 9 日(土)・10 日（日）・11 日(月・祝)

### 開催概要

「生物地球化学（Biogeochemistry）」とは、地球化学分野でも生物が関わる幅広い分野を対象としており、複数の大学や研究機関の組織名としても用いられています。主催者の研究室では、主に「生態系の食物連鎖」や「微生物と地下水の関係」など、生物の代謝と関係について、同位体比を用いた研究を行っています。そこで今回、生物地球化学分野の研究について興味を持ってもらうべく、合宿形式でのイベントを企画しました。本イベントでは、生物地球化学分野の研究紹介をはじめ、実際に同位体比質量分析装置を使った実習を行いました。また、実習先として、信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター乗鞍ステーションにて宿泊しました。乗鞍地域は信州大学理学部が主体となって研究に取り組んでいます。自然豊かな環境を満喫してもらいつつ、学生間の交流を深めることを目的としました。

### 実施概要

8 月 9 日（土）

- ・松本駅集合後、乗鞍ステーションへ移動
- ・アイスブレイク & 実習の説明
- ・グループワーク：河川水の採水およびろ過作業
- ・BBQ 大会 & 乗鞍温泉
- ・乗鞍ステーションにて宿泊

8 月 10 日（日）

- ・周辺散策 & 植物採取
- ・乗鞍ステーションから松本キャンパスへ移動
- ・ミニ講義：同位体比とは？
- ・採取した試料を用いた分析実習
- ・懇親会

8 月 11 日（月・祝）

- ・グループワーク：同位体分析結果の考察

## ・閉会式

### 参加者

- ・学外参加者：3名（高校生1名・学部生1名・大学院博士課程1名）
- ・学内参加者：6名（学部生6名・大学院修士課程1名）

### 総括

2023年度より地球化学若手会の活動が本格的に再始動する中で、以前にあった合宿形式を希望する声や、「同位体比について興味があるけど、どのように測定するのか分からない」という声をよく耳にしました。そこで、春の研究会とは別に合宿形式のワークショップを企画してみてもどうかと思い立ち、本イベントを立ち上げた次第です。初回ということもあり、学外参加者は多くはありませんでしたが、高校生が参加してくれたことは大きな意義があったと思います。今回参加した学生の大半は同位体比分析装置を使うことが初めてでしたが、自身が採取した試料を用いて測定し、その結果を比較することで理解が深まった様子でした。今回が初めての開催ということもあり、至らぬ点が多々ありましたが、機会をみて次回以降の開催も企画したいと思います。



参加者集合写真（乗鞍ステーションにて）